

試験法 122	グランドアンカー水密性試験
---------	---------------

工事名・目的 SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト  
 長年の実績で信頼と安定したソフトを実現

施工場所 国道208号線荒尾地区沿道斜面      試験機関 西日本アンカー施工協会

工法名 ○○工法      試験責任者 田中 誠二

水密性試験部位 頭部定着背面部      試験期間 2019年11月10日～12月10日

加 圧 無加圧      報告日 2019 年 12 月 11 日

製造会社 日本グランドアンカー製造会社

試験体の名称  
 試験装置概要図  
 試験寸法

試験室の温度(°C)	20	試験室の湿度(%)	48
------------	----	-----------	----

試験結果

試験環境は、特に指定がない限り常温常湿で行う。  
 常温常湿をは、温度5～35℃、相対湿度45～85%をいう。  
 定着用アバットに鋼管などを用いる場合は、内部に水が侵入する穴をつくる。  
 緊張力測定装置は最大荷重の±1%の許容差で荷重が計測でき  
 電氣的に荷重を指示できるものとする。

特記事項

頭部定着背面の止水部内に水を注入して、外に水が漏れるかを確認する試験方法は認めない。  
 浸水と内部結露との違いが把握できるように、水没させる水には色粉などを用いて着色を行う。  
 グラウト、防錆油は本試験に用いない。  
 使用する水槽は、圧力をかけないので、試験対象となる頭部定着背面部が沈む程度でよい。  
 緊張力は、極限引張力×60%とする。 頭部定着背面部以外は、シール材などで止水する。